

「常陽」電源設備ローカル盤の点検

仕様書

令和8年5月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
大洗原子力工学研究所
高速実験炉部 高速炉第2課

1. 概要

本仕様書は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、原子力機構と記す。）大洗原子力工学研究所高速実験炉「常陽」のうち、電源設備ローカル盤の点検に関するものである。

本件は、電気工作物の保安確保及び設備の機能維持を目的とした定期点検である。

2. 一般仕様

2.1 契約範囲

- (1) ローカル盤の点検 1 式
- (2) 試験検査 1 式
- (3) 図書の作成 1 式

2.2 図書

受注者が原子力機構に提出する主な図書は、原則以下の通りとする。図書の詳細については、原子力機構と別途協議の上決定するものとする。確認図書にあっては、分割して提出してもよい。なお、部数には返却用一部を含んでいる。

(1) 提出図書

- ① 委任先又は中小受託事業者等の承認について（中小受託事業者等へ請負等がある場合）
1 式（作業開始2週間前まで）
- ② 工程表
3 部（作業開始2週間前まで）
- ③ 作業着手手続書類一式
1 部（作業着手前^{*1,2}）

〔 作業着手届、作業員名簿、体制表、一般安全チェックリスト等 〕

(2) 確認図書

- ① 作業要領書（試験検査要領書を含む）
3 部（作業着手前^{*1,2}）
- 〔 試験検査計器の校正成績書、トレーサビリティ体系図については、別途、作業開始前までに原子力機構へ提示し、適切に校正されたものであることの確認を得ること。 〕

(3) 完成図書

- ① 実績工程表
2 部（作業終了後速やかに）
- ② 作業報告書
2 部（作業終了後速やかに）
- ③ 試験検査成績書
2 部（作業終了後速やかに）
- ④ 作業写真集
2 部（作業終了後速やかに）
- ⑤ 試験検査計器の校正成績書（トレーサビリティ体系図含む）
2 部（作業終了後速やかに）
- ⑥ (2)確認図書の完成版
2 部（作業終了後速やかに）

※1 変更があった場合は、その妥当性（作業方法、作業員の技量管理、安全対策等）を確認し速やかに再提出すること。

※2 作業着手に必要な書類は、原則として作業着手の2週間前までに提出のこと。

(4) 提出場所

茨城県東茨城郡大洗町成田町4002番地

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗原子力工学研究所

高速実験炉部 高速炉第2課

2.3 作業実施場所

茨城県東茨城郡大洗町成田町4002番地

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 大洗原子力工学研究所

高速実験炉「常陽」

2.4 納 期

令和9年3月31日

本作業は、令和8年11月から令和9年2月を予定しているが、詳細工程については別途指示する。

2.5 検収条件

本仕様書の「3. 技術仕様」に定める事項を完了したこと及び完成図書の完納をもって検収とする。

2.6 工場立会検査

無

2.7 現場作業

(1) 現場作業 有

現場作業があるため、大洗原子力工学研究所が定める「安全管理仕様書」に従うこと。

周辺防護区域（「常陽」フェンス内）へ立入る際は、「常陽」警備所にて本人確認が行われるため、作業員は全員、顔写真入りの身分証明書（運転免許証、パスポート等の公的身分証明書）を携帯するか、または、顔写真入りの作業員名簿を作成し、予め提出すること。

(2) 核物質防護区域内作業 有

核物質防護区域内への立ち入りの際は、顔写真入りの身分証明書（運転免許証、パスポート等の公的身分証明書）の提示が必要であるので、作業員は全員、身分証明書を携帯すること。

(3) 放射線管理区域内作業 有

放射線管理区域内作業があるため、大洗原子力工学研究所が定める（南地区）放射線安全取扱要領に従うこと。

当該作業を開始する前に、受注者側作業員は、原子力機構が行う保安教育を受けること。但し、放射線に関する知識は、受注者側で教育すること。

(4) 火気使用作業

本作業において火気を使用する場合は、あらかじめ原子力機構の指定書式を用いて火気の使用届を行うこと。また、以下の事項を要領書に記載し遵守するとともに、一般安全チェックリスト及びリスクアセスメントにて危険予知を行うこと。なお、火気使用作業とは、ガスバーナ、グラインダ、溶接機、ヒータ、電気機器等の発火源となるものを使用することである。

- 原子力機構の火気使用工事届出書に記載した注意事項を厳守すること。
- 作業要領書の手順に火気の使用と使用する場所の安全対策を明記すること。
- 火気と可燃性溶剤等を同一作業エリア内で同時に使用することを厳禁とすること。
- 作業エリア内に可燃性溶剤（有機溶剤、スプレー類など）等、火気と離れていても引火する可能性のある可燃物が使用されていないことを確認すること。
- TBM-KYで火気使用時の安全対策を作業員に周知すること。
- 原子力機構書式「溶接・溶断等火気使用作業時の点検確認票」で点検すること。
- 可燃性溶剤等が当日使用されている場合は、可燃性ガス検知器等で滞留がないことを確認すること。滞留がある場合は、無くなるまで換気等を実施すること。
- 作業エリアに可燃物、可燃性溶剤等を保管する場合は、防災シート、スパッタシート等で覆い作業場所から離すこと。
- 火気使用時は火気使用中の看板を掲示し、エリア内の作業員に周知すること。
- 火気使用後は残火を確認する。

(5) 可燃性溶剤等の使用

本作業において可燃性溶剤等を使用する場合は、以下の事項を要領書に記載し遵守すること。なお、可燃性溶剤等とは、潤滑油、制御油、燃料油等の危険物、そして有機溶剤、有機塗料など引火性物質のことである。

- 可燃性溶剤等の使用上の注意事項。
- 消火器配置場所の確認。
- 可燃性ガスの滞留防止対策。（必要に応じて強制換気。）
- 火気と可燃性溶剤の同一エリア内での同時使用の禁止。

- ・持ち込む可燃性溶剤等の名称、種類、数量の管理。
- ・持ち込む数量は必要最小限とし、足りなくなってから補充。

2.8 支給品

無

2.9 貸与品

無

2.10 受注者準備品

- (1) 試験検査用計器・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 式
- (2) 作業に使用する工具・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 式

2.11 適用法規

- (1) 日本産業規格(JIS)
- (2) 日本電機工業会規格(JEM)
- (3) 電気規格調査会規格(JEC)
- (4) その他関連法令、規則、指針及び規格

2.12 作業員の力量

- (1) 現場責任者等教育修了者のうちから現場責任者を選任し、作業管理を行わせること。なお、現場責任者は、自らの判断で作業員を兼務してはならない。現場責任者が作業員を兼務する場合は、作業担当課長と協議すること。現場責任者等教育の受講が必要な場合は、受講希望日の2週間前までに受講申請を行うこと。
- (2) 資格を必要とする作業では有資格者が実施すること。また、免状等を携帯し、提示要求された場合にはそれに応じること。

2.13 グリーン購入法の推進

- (1) 本契約においてグリーン購入法に該当する環境物品が発生する場合は、調達基準を満足した物品を採用すること。
- (2) 本仕様書に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の適用対象であるため、当該基準を満たしたものであること。

2.14 化学物質管理促進法の推進

- (1) SDS 制度の対象となる化学物質（第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質）を取扱う場合は、作業前に SDS（安全データシート）を提出すること。
- (2) 作業では、SDS を活用し取扱いに注意すること。
- (3) 作業終了後に、使用量、排出量を報告すること。

2.15 機密保持

- (1) 受注者は、この契約に関して知り得た情報を、第三者に開示、提供してはならない。ただし、受注者が下請負人を使用する場合は、その者に対して機密の保てる措置を講じて必要な範囲内で開示することができる。なお、あらかじめ書面により原子力機構の承認を受けた場合はこの限りではない。
- (2) 受注者は、この契約の内容又は成果を発表し、公開し、又は他の目的に供しようとするときは、あらかじめ、書面により原子力機構の承認を得なければならない。

2.16 協 議

本仕様書に記載されている事項及び記載なき事項について疑義が生じた場合は、別途原子力機構と協議のうえ決定するものとする。

2.17 その他

- (1) 新設品、交換品には、労働安全衛生法施行令で使用が禁止されている石綿を含有する製品は使用しないこと。
- (2) 本作業で使用する電動機器及びエンジン機器は、あらかじめ外観点検や絶縁抵抗測定等の点検を実施し、異常のないことを確認した上で使用すること。
- (3) 受注者は、環境保全に関する法規を遵守するとともに、省エネルギー、省資源及びその他の廃棄物の低減に努めること。
- (4) 受注者は、大洗原子力工学研究所構内に乗り入れる車両のアイドリングを禁止し、自動車排気ガスの低減に努めること。
- (5) 受注者は、全ての下請業者に契約要求事項、設計図書、設計の背景、注意事項等を確実に周知徹底させること。また、下請業者の作業内容を把握し、品質管理、作業管理、工程管理をはじめとするあらゆる点において、下請業者を使用したために生じる弊害を防止すること。万一、弊害が生じた場合には、受注者の責任において処理すること。
- (6) 現場作業の実施にあたっては、当日の作業内容について担当者と打合せを行い、TBM/KYを実施してから作業に着手すること。TBM/KY記録は現場に掲示すること。
- (7) 作業者は、作業区域を明確にするとともに、原子力機構の貸与する「作業表示板」「仮置表示板」を掲示すること。また、必要に応じて作業区域に関係者以外の立入りを制限する等の安全対策を施すこと。
- (8) 現場作業における据付または試運転のための機器等の運転・切替・停止、電源の遮断・投入等の操作は、原子力機構が行うものとする。
- (9) 大型特殊工具等を「常陽」周辺防護区域内に持ち込む場合（「常陽」警備所を通過して持ち込む場合等）は、「常陽」指定の申請書にてあらかじめ申請を行うこと（申請したものの以外

は持ち込めない)。なお、大型特殊工具等とは、以下のものを指す。

- ① 大型バール（長さが750mmを超えるもの）
 - ② ボルトカッタ（電動、油圧）、せん断装置、ディスクグラインダ（ベビーサンダ）、セーバソー、バンドソー等
 - ③ コアドリル（直径100mm以上のもの）
 - ④ ホールソーとセットで持ち込む電動ドリル、充電式ドリル（キリとのセットの場合及び充電式ドライバは除く）
 - ⑤ 溶断装置（ガス、電気、プラズマ）
 - ⑥ 液体燃料（危険物第4類に属し、数量が指定数量の1/20を超えるものに限る（自走のための車両の燃料タンク内のものは除く））
 - ⑦ 爆発物（火薬類、危険物第5類に属するもの、可燃性ガス（充填量が7m³以上のボンベ））
 - ⑧ 建設機械等（クレーン車、ブルドーザ、ホイールローダ、油圧ショベル（ユンボを含む）、エアハンマ、ハンマードリル等）
- (10) 原子力機構が所有する天井クレーン、フォークリフト等を使用する場合、ボンベ設置・溶接機設置・火気使用・電源使用許可願、撮影許可申請を行う場合は、原則2週間前までに申請を行うこと。
- (11) 本作業に使用する工具及び消耗品等の機器内等への置き忘れを防止するため、使用工具類リスト及び消耗品リスト等によって管理し、作業前後に員数を確認すること。
- (12) 作業において、問題点又は不具合点が発見された場合は、速やかに原子力機構担当者に連絡すること。なお、何らかの対応が必要と判断した場合は、原子力機構と協議の上、以下の措置をとること。
- ① 現地での対応の適否を原子力機構担当者と検討し、現地で対応可能なものは現地で、現地で対応不可能なものは工場等へ持ち帰り修復すること。
 - ② 工場等、原子力機構外へ持ち出す場合は、原子力機構で規定されている「物品持出票」を提出し許可を受けること。
 - ③ 問題点または不具合点については、その内容と対応を記録に残すこと。
- (13) 試験検査は、JIS、JEM、JEC等の公的規格を適用し実施すること。受注者の社内規格を適用する場合は、予め原子力機構の許可を得ること。
- (14) 報告書には、以下を記載すること。
- ① 交換した部品等の名称、型式、数量、製造会社を明記すること。
 - ② 検査に使用した計器の名称、型式、計器校正の有効期限を記載すること。また、報告書

に、使用した計器のトレーサビリティ体系図及び校正成績書を添付すること。

③ 点検結果に対し、予防保全の観点からの総合的な検討・評価を行い、その内容を記載すること。

(15) 試験検査用計器については、国家標準まで迎れるトレーサビリティ体系に基づき校正されたものを使用すること。この際、トレーサビリティ体系上にある上位計器-下位計器の計測精度、校正有効期限等の関係に齟齬ないことを確認すること。

(16) 以下に従い写真を撮影し、作業報告書に添付すること。

① 一連の作業状況の写真

② 不具合が生じた場合の状況写真

(17) 作業において発生した撤去品のうち、スクラップは、鉄・非鉄に分別して原子力機構の指定する場所（大洗原子力工学研究所内）まで運搬すること。スクラップ以外の撤去品は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて受注者が処分すること。また、作業のために持ち込んだ不要資材及び作業残材は、受注者が全て持ち帰ること。

(18) 受注者は、作業実施前に装置及び作業等の危険要因を評価するためのリスクアセスメントを実施すること。SRA（簡易リスクアセスメント）及びDRA（詳細リスクアセスメント）の何れを実施するかは別途原子力機構と調整すること。ただし、過去に同様の作業を実施した際にリスクアセスメントを実施した場合等、原子力機構が必要ないと判断した場合は、リスクアセスメントを実施しなくてよい。

(19) 据付、試験検査の各段階において、材料の選定、識別、保管、機器内部への異物混入防止等の方法及び必要な対策を定めて適切に管理すること。

(20) 受注者は、検収の日から1年間は、文書の保管を検索し易いように整理して保管場所を決め、常にその所在を明確にしておくこと。

(21) 文書を変更した場合は、旧文書の誤用を防止するよう適切に管理すること。

(22) 本契約に関して必要な許可、認可、承認等の申請に関する手続きを行うときは、当該手続きに必要な資料を提出する等、協力すること。

(23) 本件に関し品質保証監査が行われ、資料の提示等、品質保証監査に協力を求められた場合は、協力すること。

(24) 受注者は、調達後における保安に関する維持（取扱の注意事項等）又は運用（混載禁止等）に必要な技術情報を提供すること。

2.18 受注者の責務

受注者は、本仕様書及びその他の付属文書等に定めるところに従い、本仕様書に定める受注者の責務を誠実に遂行すること。

2.19 個人情報の保護

本契約で得られた個人情報は、本契約以外の目的に使用しない。

2.20 検査員及び監督員

検査員

- (1) 一般検査 大洗地区管財担当課長
- (2) 技術検査 高速実験炉部高速炉第2課長

監督員

- (1) 高速実験炉部高速炉第2課 技術副主幹

3. 技術仕様

3.1 契約範囲

- (1) ローカル盤の点検
- (2) 試験検査

3.2 点検範囲

- (1) ローカル盤の点検

① 点検対象

以下に点検対象を示す。詳細点検は、外観点検、清掃、締め付け確認、試験検査を行うこと。また、簡易点検は、試験検査のみを行うこととするが、汚れが著しい場合は、清掃を行うこと。

「表-1 一般区域の点検対象盤(1/1)」・・・・・・・・・・簡易点検

「表-2 管理区域の点検対象盤(1/1)」・・・・・・・・・・詳細点検

「表-3 動力・照明点検対象盤(1/2)～(2/2)」・・・・・・・・簡易点検

② 詳細点検

(a) 外観点検

(i) 点検対象盤内の取付機器、計器、配線及び端子等について、損傷、変色、剥離及び変形等の有無を確認し、塗装に剥離がある場合は、タッチアップ塗装を行うこと。

(ii) 導体接続部、ケーブル接続部及びケーブル本体の損傷、変色及び変形等の有無を確認し、ケーブルに有害な傷または損傷等が認められた場合は、別途協議の上、補修または引き直しを行うこと。

(iii) ケーブル固定用のスパイラルチューブに著しい損傷がある場合は、交換すること。

(b) 清 掃

(i) ハケ、ウエス及び掃除機等を使用して、各電源設備盤内の清掃を行い、汚れを落とすこと。なお、汚れが著しい場合は、適正な溶剤を使用して汚れを落とすこと。

(ii) 可塑剤が染み出しているケーブルについては、可塑剤の除去を行うこと。

(c) 締め付け確認

(i) 盤内主回路の固定ボルトの締め付け状態をトルクレンチで確認すること。ボルトの締め付けトルク値一覧（参考）を下表に示す。締め付け確認後は、ペイントマーカー等でマーキングを行うこと。

(ii) 盤内の取り付け機器、制御回路の取付ネジ及び端子ネジをドライバ等で締め付け確認を行うこと。

(iii) 据付ボルトの締め付け確認を行うこと。

ボルトの締め付けトルク値一覧（参考）

ボルトサイズ	規定トルク値 N・m(kgf・cm)	
	鋼製ボルト	黄銅ボルト
M6	4.9(50)	—
M8	11.7(120)	5(51)
M10	23.5(240)	8(81)
M12	39.2(400)	—
M16	83.3(850)	—

(2) 試験検査

以下の試験検査を原子力機構立会いのもと実施すること。受注者は、試験検査に先立ち、試験検査項目、手順、合否基準、準拠した規格等を記載した試験検査要領書を作成し、原子力機構の確認を得ること。

(a) 外観検査

点検箇所の外観に、機能上有害な破損、損傷、変形、変色等の異常の有無を確認すること。

(b) 絶縁抵抗検査

高圧回路については、DC1000V にて $5M\Omega$ 以上あることを確認すること。また、低圧回路については、DC500V にて 400V 電路が $0.4M\Omega$ 以上、200V 電路が $0.2M\Omega$ 以上、100V 電路が $0.1M\Omega$ 以上あることを確認すること。

(c) 制御機器の単品作動試験（詳細点検のみ実施）

以下に示す各制御機器の作動試験を行うこと。対象機器は、「表-4 制御機器設定値一覧」を参照のこと。

(i) サーマルリレー及び過電流リレー

設定値確認後、設定電流に対する試験電流を変化させ、動作時間を測定すること。設定値がずれている場合は、原子力機構担当者との協議の上、設定し直すこと。また、模擬動作にて警報出力及びトリップ動作を確認すること。

(ii) タイマー

設定値確認後、動作時間を測定すること。設定値がずれている場合は、原子力機構担当者との協議の上、設定し直すこと。

表-1 一般区域の点検対象盤(1/1)

No.	点検対象盤	部屋	盤番号	盤種類	停電可否	面数
1	補助電源受電盤	A-707	326	配電盤	○	1
	補助電源分電盤(1)	A-707	326-1	配電盤	○	1
	補助電源分電盤(2)	A-707	326-2	配電盤	○	1
	補助電源分電盤(3)	A-707	326-3	配電盤	○	1
2	機器洗浄設備盤	M-401	704	制御盤	○	1
	メンテナンス設備換気設備盤	M-401	705	制御盤	○	1
	メンテナンス建家空調換気盤	M-401	706	制御盤	○	1
	メンテナンス建家2A-C/C	M-311	709	配電盤	○	2
	メンテナンス建家2S-C/C	M-311	710	配電盤	○	1
3	中央制御室分電盤(7C)	A-712	426	配電盤	×	1
	電源設備操作7C分電盤	A-706	325	配電盤	○	1
	遮断器順序投入信号処理補助盤	A-605	1296	配電盤	○	1
	遮断器順序投入監視補助盤	A-605	1297	配電盤	○	1
	駆動電動機制御盤	A-712	431	制御盤	○	1
	主冷却機建家2C-C/C	S-125	626	配電盤	○	1
	主冷却機建家3C-C/C	S-125	624	配電盤	○	1
4	中央制御室分電盤(6C)	A-712	426	配電盤	×	1
	中央制御室分電盤(6S)	A-712	426	配電盤	×	1
	ロジック盤A(6C, 6S, 7S)	A-712	401	制御盤	○	1
	補助継電器盤	A-712	404	制御盤	×	1
	補助継電器(2)盤	A-712	404-2	制御盤	×	1
	空調系冷却塔インバータ制御盤(A系統)	A-704	372	制御盤	○	1
	補機系冷却塔インバータ制御盤(A系統)	A-704	373	制御盤	○	1
5	4C電源盤	A-706	324	配電盤	○	1
	中央制御室分電盤(4C)	A-712	426	配電盤	×	1
	4S電源盤	A-706	323	配電盤	○	1
	中央制御室分電盤(4S)	A-712	426	配電盤	○	1
	常陽変電所(CP-1)	常陽変電所	828	配電盤	○	1
	常陽変電所電灯分電盤(L-1)	常陽変電所	829	配電盤	○	1
6	中央制御室分電盤(7D)	A-712	426	配電盤	×	1
	電源設備操作7D分電盤	A-707	345	配電盤	○	1
	主冷却機建家2D-C/C	S-130	636	配電盤	○	1
	主冷却機建家3D-C/C	S-130	634	配電盤	○	1
7	4D電源盤	A-707	336	配電盤	○	1
	中央制御室分電盤(4D)	A-712	426	配電盤	×	1
	FFD計装盤(6S)	A-712	429	制御盤	×	1
	原子炉制御盤(6S, 7S)	A-712	423	制御盤	×	1
	格納容器雰囲気調整盤(4C, 4S, 4D, 6C, 6S, 6D)	A-712	422	制御盤	×	1
	格内床下酸素濃度監視盤	A-712	455	制御盤	×	1
	補機冷却系制御盤	A-712	413	制御盤	×	1
監視用地震計盤	A-712	-	制御盤	○	3	
8	中央制御室分電盤(6D)	A-712	426	配電盤	×	1
	ロジック盤B(6D, 7S)	A-712	402	配電盤	○	1
	脱塩水処理制御盤(3A)	S-101	601	制御盤	○	1
	脱塩水処理電磁弁箱(4S)	S-101	602	制御盤	○	1
	スペースヒータ分電盤	S-201	648	配電盤	○	1
	空調系冷却塔インバータ制御盤(B系統)	A-704	372	制御盤	○	1
補機系冷却塔インバータ制御盤(B系統)	A-704	373	制御盤	○	1	
9	中央制御室分電盤(7S)	A-712	426	配電盤	×	1
	燃料集合体出口温度計装盤(7S)	A-712	428	制御盤	○	1
	中性子計装盤(6C, 6S, 6D)	A-712	403	制御盤	×	1
	電源監視盤(7S)	A-712	427	制御盤	×	1
	電源監視補助盤(7S)	A-712	406	制御盤	×	1
	自動同期盤	A-712	405	制御盤	×	1
	電源設備操作7S分電盤	S-201	647	配電盤	○	1
電源設備操作7C分電盤(7S)	A-706	325	配電盤	○	1	
10	コンクリート遮蔽体冷却系運転監視盤(4C, 4D)	A-704	318-1	制御盤	○	1
	アニュラス部排気系補助制御盤(4D)	A-704	318-2	制御盤	○	1
	格納容器雰囲気調整補助盤(6S)	A-704	422-2	制御盤	○	1
	格納容器付帯設備制御盤(補助)	A-704	310	制御盤	×	1
	トランス盤(2)(非常系照明用)(2S)	A-707	379-2	配電盤	○	1
	屋外照明盤 L-R	A-802	-	分電盤	○	1
	照明分電盤 L-S	S-705	-	分電盤	○	1
屋外灯用電源箱(屋外灯・屋外運転表示灯盤L-01.02)	A-705	-	分電盤	○	2	
11	運転管理棟 3B-C/C	機械室	-	制御盤	○	1
12	動力盤(3)(一般系動力電源)	A-707	382-3	配電盤	○	1
	動力盤(1)(一般系動力電源)	A-707	382-1	配電盤	○	1
	動力盤(2)(一般系動力電源)	A-707	382-2	配電盤	○	1
13	NFB盤(1)(一般系照明用)	A-707	378-1	配電盤	○	1
	NFB盤(2)(一般系照明用)	A-707	378-2	配電盤	○	1
	NFB盤(3)(無停電系照明用)(補助)	A-707	378-3	配電盤	○	1

注1. No.は同日に点検を行うものを示す。

注2. 点検対象盤の塗りつぶしは、詳細点検の対象を示す。

75

表-2 管理区域の点検対象盤 (1/1)

No.	点検対象盤	部屋	盤番号	盤種類	全停可否	面数
14	原子炉建家2C-C/C	R-601	560	配電盤	○	11
	原子炉建家2S-2C/C	R-601	562	配電盤	○	12
	格納容器雰囲気調整盤(2C)	R-601	563	制御盤	○	1
15	原子炉付属建家2B-2C/C盤	A-509	264	配電盤	○	8
	原子炉付属建家3A-C/C盤	A-509	267	配電盤	○	13
	原子炉付属建家2C-2C/C盤	A-509	265	配電盤	○	16
16	原子炉付属建家分電盤(4S)	A-509	271	配電盤	○	1
	原子炉建家分電盤(4S)	R-601	559	配電盤	○	1
	現場保物計装分電盤(4S)	A-509	270	配電盤	○	1
	FFDカバーガス法	R-601	564	制御盤	△	1
	保温ヒータ盤	R-601	565	制御盤	△	1
	ダストモニタ分電盤(3S)	A-509	269	配電盤	○	1
	EG分電盤	A-523	-	配電盤	○	1
17	原子炉建家3S-C/C	R-601	558	配電盤	○	59
18	原子炉付属建家分電盤(6S)	A-509	271	配電盤	○	1
	原子炉建家分電盤(6S)	R-601	559	配電盤	○	1
	原子炉建家2D-C/C	R-601	561	配電盤	○	10
	原子炉建家3B-C/C	R-601	557	配電盤	○	12
	格納容器雰囲気調整盤(2D)	R-601	563	制御盤	○	1
19	Aコンクリート冷却ブロワ盤	A-102	002	制御盤	○	1
	原子炉付属建家2C-1C/C盤	A-102	003	配電盤	○	4
	格納容器雰囲気調整盤(2C, 6C, 4S)	A-102	004	制御盤	×	1
	原子炉付属建家2C-1C/C盤	A-102	005	配電盤	○	4
	Aフロン冷凍機盤	A-102	001	制御盤	○	1
	窒素ガスブロウィンバータ変圧器収納箱A	A-102	058-2	制御盤	○	1
	窒素ガスブロウィンバータ盤A	A-102	058-1	制御盤	○	1
	チリングユニット冷凍設備現場操作盤	A-103	057	制御盤	○	1
	チリングユニット操作盤	A-103	053	制御盤	○	1
	002 003共通制御盤(2C)	A-102	-	制御盤	○	1
20	Bコンクリート冷却ブロワ盤	A-118	015	制御盤	○	1
	原子炉付属建家2D-1C/C盤	A-118	016	配電盤	○	3
	格納容器雰囲気調整盤(2D, 6D, 4S)	A-102	004	制御盤	×	1
	原子炉付属建家2D-1C/C盤	A-118	017	配電盤	○	6
	Bフロン冷凍機盤	A-118	014	制御盤	○	1
	窒素ガスブロウィンバータ変圧器収納箱B	A-118	059-2	制御盤	○	1
	窒素ガスブロウィンバータ盤B	A-118	059-3	制御盤	○	1
	015 016共通制御盤(2D)	A-118	-	制御盤	○	1
21	原子炉付属建家2D-2C/C盤	A-509	266	配電盤	○	17
22	プール水処理設備盤	M-301	707	制御盤	○	1
	小物機器洗浄設備盤	M-301	716	制御盤	○	1
	水中カッター設備動力盤(2A)	M-301	715	配電盤	○	1
23	原子炉付属建家3S-C/C盤	A-509	268	配電盤	○	45

注1. No.は同日に点検を行うものを示す。

注2. 点検対象盤の塗りつぶしは、詳細点検の対象を示す。

248

表-3 動力・照明点検対象盤 (1/2)

No.	点検対象盤	部屋	盤番号	盤種類	停電可否	面数	備考
24	作業用分電盤 M-6	A-311	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-8	A-215	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-10	A-118	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-10-1	A-102	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-1	A-705	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-3	A-505	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-4	A-403	-	分電盤	○	1	
	通信装置用切替盤	A-403	113	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-5	A-406	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-7	A-208	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-9	A-107	-	分電盤	○	1	
	工事用分電盤 M-11	A-509	-	分電盤	○	2	
	作業用分電盤 M-2	A-510	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-2-1	A-510	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-2-2	A-511A	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-C	R-501	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 T-1	A-515	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 T-2	A-711	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 T-3	A-525	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 T-4	A-304	-	分電盤	○	1	
25	運転管理棟 LM盤	運管棟1F	-	配電盤	○	1	
	実験用分電盤 P-1	運管棟1F	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 P-2	運管棟2F	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 P-3	運管棟2F	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 P-4A	運管棟3F	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 P-4B	運管棟3F	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 P	図書室1F	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 P	図書室2F	-	分電盤	○	1	
26	作業用分電盤 M-S-3	S-201	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-S-4	S-220	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-S-5	S-102	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-S-6	S-126	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-S-7	S-416	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-R	A-802	-	分電盤	○	1	
	動力用電源盤	S-201	638	配電盤	○	1	
	工事用分電盤	S-201	607	配電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-S-1	S-403	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M-S-2	S-419	-	分電盤	○	1	
27	動力分電盤	M-311	-	配電盤	○	1	
	作業用分電盤 MB2-1	M-105	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 MB1-1	M-201	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 MB1-2	M-205	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M1-1	M-301	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M1-2	M-301	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M1-0	M-311	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 M2-1	M-401	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 1-L	M-308	-	分電盤	○	1	
28	低圧動力盤	D-203	-	配電盤	○	1	
	照明用分電盤	D-203	-	分電盤	○	1	
	動力照明分電盤	第4倉庫	-	分電盤	○	1	
	照明動力分電盤	第5倉庫	-	分電盤	○	1	
	LP-2盤	第3倉庫	-	配電盤	○	1	
	作業用分電盤	第2倉庫	-	配電盤	○	1	
	LP-2盤	第1倉庫	-	配電盤	○	1	
	LP-1盤	第1倉庫	-	配電盤	○	1	
	作業用分電盤 (1)	第1倉庫	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤 (2)	第1倉庫	-	分電盤	○	1	
29	実験用分電盤 F-1	P-102	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-2	P-101	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-3	P-201	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-4	P-206	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-5	P-313	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-6	P-311	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-7	P-312	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-8	P-309	-	分電盤	○	1	
	実験用分電盤 F-9	P-401	-	分電盤	○	1	
30	作業用分電盤	T-103	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤	T-203	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤	T-307	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤	T-310	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤	T-404	-	分電盤	○	1	
	作業用分電盤	T-502	-	分電盤	○	1	

注1. No.は同日に点検を行うものを示す。

注2. 点検対象盤の塗りつぶしは、詳細点検の対象を示す。

表-3 動力・照明点検対象盤 (2/2)

No.	点検対象盤	部屋	盤番号	盤種類	停電可否	面数	備考
31	補助電源分電盤	A-712	460	分電盤	○	1	
	補助電源分電盤	A-704	359	分電盤	○	1	
	補助電源分電盤	A-605	299	分電盤	○	1	
	補助電源分電盤	A-509	261	分電盤	○	1	
	補助電源分電盤	A-504	216	分電盤	○	1	
	補助電源分電盤	S-402	660	分電盤	○	1	
	補助電源分電盤	S-201	639	分電盤	○	1	
32	照明用分電盤 L-1E	A-501	-	分電盤	○	1	
	航空障害灯点滅器盤	屋外	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-2E	A-701	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-2E-F	A-605	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-B2W	A-104	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-1W	A-507A	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-2W	A-707	-	分電盤	○	1	
	照明用電源切替盤 L-2W-F	A-707	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-3	運管棟3F	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L	会議室前室2F	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-1	運管棟1F	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-2	運管棟2F	-	分電盤	○	1	
	照明用電源盤	S-201	637	配電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-B2	S-120	-	分電盤	○	1	
	照明用電源切替盤 L-B2-F	S-120	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-B1	S-205	-	分電盤	○	1	
照明用電源切替盤 L-B1-F	S-205	-	分電盤	○	1		
照明用分電盤 L-1W	S-416	-	分電盤	○	1		
照明用分電盤 L-1E	S-409	-	分電盤	○	1		
33	照明用分電盤 L-B2E	A-101	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-BM2E	A-215	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-B1E	A-301	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-1C	R-501	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-2C	A-204	-	分電盤	○	1	
	照明用分電盤 L-BM2W	A-208	-	分電盤	○	1	
34	作業用分電盤	W-305	-	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 L-B2	W-109	-	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 L-B1	B1F通路	-	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 L-1	1F通路	-	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 L-2A	W-401	-	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 L-2B	W-402	-	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 L-3	W-501	-	分電盤	○	1	
35	電灯分電盤	P-304	920	分電盤	○	1	
36	作業用分電盤 非常系	T-404	962	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 B2L-1	T-103	996	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 B1L-1	T-203	991	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 1L-1	T-305	984	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 2L-1	T-404	972	分電盤	○	1	
	電灯分電盤 3L-1	T-502	976	分電盤	○	1	

注1. No.は同日に点検を行うものを示す。

46

注2. 照明・電灯分電盤にあつては、電源系統が一般系、非常系、直流系に分けられているため、各停電にあわせて実施のこと。

注3. 点検対象盤の塗りつぶしは、詳細点検の対象を示す。

表-4 制御機器設定値一覧(1/6)

No.	負荷名称	部屋番号	盤番号	デバイスNo.	メーカー型式	設定値
3Eリレー						
1	冷媒ポンプ(A)	A-102	003	3ER	オムロン:SE-KP2N	48A,6S
2	冷媒ポンプ(C)	A-102	003	3ER	オムロン:SE-KP2N	48A,6S
3	冷媒ポンプ(B)	A-118	016	3ER	オムロン:SE-KP2N	40A,5S
サーマルリレー及び過電流リレー(1/4)						
1	オートグリスター(A)	A-102	003	49	三菱電機:TH-N12	0.75A
2	オートグリスター(B)	A-118	016	49	三菱電機:TH-N12	0.65A
3	アニュラス排気ファン(A)	A-102	003	49	三菱電機:TH-N12	8A
4	アニュラス排気ファン(B)	A-118	016	49	三菱電機:TH-N12	8A
5	ポンプアウトユニット	A-102	003	49	富士電機:TR-ON	3.5A
6	フロン冷媒充填ポンプ	A-102	003	49	三菱電機:TH-N12	5.3A
7	A空調系循環ポンプ	A-102	005	49	東芝:T20J	5A
8	A補機系揚水ポンプ	A-102	005	49	東芝:T20J	5A
9	B空調系循環ポンプ	A-118	017	49	東芝:T20J	5A
10	B補機系揚水ポンプ	A-118	017	49	東芝:T20J	5A
11	主ポンプ上蓋室(西側)軸流ファン	R-601	560	49	三菱電機:TH-N12	1.4A
12	主ポンプ再循環ファン(西側)	R-601	560	49	三菱電機:TH-N12	1.2A
13	炉上部ピット軸流ファン	R-601	560	49	三菱電機:TH-N12	5A
14	1A潤滑油ポンプ	R-601	560	49	富士電機:Rca3737	4.2A
15	1B潤滑油ポンプ	R-601	560	49	富士電機:Rca3737	4.2A
16	A油冷却ファン	R-601	560	49	富士電機:Rca3737	2.2A
17	主ポンプ上蓋室(東側)軸流ファン	R-601	561	49	三菱電機:TH-N12	1.4A
18	主ポンプ再循環ファン(東側)	R-601	561	49	三菱電機:TH-N12	1.2A
19	2A潤滑油ポンプ	R-601	561	49	富士電機:Rca3737	4.2A
20	2B潤滑油ポンプ	R-601	561	49	富士電機:Rca3737	4.2A
21	B油冷却ファン	R-601	561	49	富士電機:Rca3737	2.2A
22	FFD/CP46-1コンプレッサー	R-601	558	49	富士:SW-5-1	15.4A
23	FFD/B46-2ブロワ	R-601	558	49	富士:SW-05	2.5A
24	燃料出入機ブロワ(B)	R-601	558	49	富士:TR-3N	27.0A
25	プラグング計絞り弁	R-601	558	49	富士:SW-05RM	0.84A
26	一次純化電磁ポンプ冷却ダンパ DP34.1-1	R-601	558	49	富士:SW-05RM	2.9A
27	予熱N2ガス排気内側隔離弁 V71-34	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
28	CT入口冷却ガス内側隔離弁 V34.1-34	R-601	558	49	富士:SW-05RM	8.7A
29	CT出口冷却ガス内側隔離弁 V34.1-35	R-601	558	49	富士:SW-05RM	8.7A
30	排出Arガス内側隔離弁 V36.1-37	R-601	558	49	富士:SW-05RM	5.8A
31	供給Arガス内側隔離弁 V36.1-7	R-601	558	49	富士:SW-05RM	2.4A

表-4 制御機器設定値一覧(2/6)

No.	負荷名称	部屋番号	盤番号	デバイスNo.	メーカー型式	設定値
サーマルリレー及び過電流リレー(2/4)						
32	予熱N2ガス主冷却系Bループ入口弁 V71-46B	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
33	予熱N2ガス炉容器Aループ入口弁 V71-47A	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
34	予熱N2ガス炉容器Bループ入口弁 V71-47B	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
35	オーバフロー緊急汲上げ弁 V34.1-11	R-601	558	49	富士:SW-05RM	1.22A
36	サイフォンブレイク止弁(C) V32.1-8	R-601	558	49	富士:SW-05RM	1.22A
37	サイフォンブレイク止弁(D) V32.1-9	R-601	558	49	富士:SW-05RM	1.22A
38	純化系緊急汲上げ切替弁 V34.1-3	R-601	558	49	富士:SW-05RM	1.22A
39	予熱N2ガス主冷却系Aループ出口弁 V71-6A	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
40	予熱N2ガス主冷却系Bループ出口弁 V71-6B	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
41	予熱N2ガス炉容器Aループ出口弁 V71-7A	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
42	予熱N2ガス炉容器Bループ出口弁 V71-7B	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
43	予熱N2ガス補助冷却系出口弁 V71-8	R-601	558	49	富士:TR-0H	2.4A
44	予熱N2ガス補助冷却系入口弁 V71-42	R-601	558	49	富士:TR-0H	2.4A
45	予熱N2ガス主冷却系Aループ入口弁 V71-46A	R-601	558	49	富士:TR-0H	3.4A
46	交換機孔ドアバルブ	R-601	558	49	富士:TR-0NH	2.2A
47	プラグイン系冷却ダンパ DP34.1-3	R-601	558	49	富士:TR-0N	1.5A
48	オーバフロー電磁ポンプ冷却ダンパ DP33-1	R-601	558	49	富士:SW-05RM	2.9A
49	補助電磁ポンプ冷却ダンパ DP32.1-1	R-601	558	49	富士:SW-05RM	2.9A
50	燃料出入機台車油圧ポンプ	R-601	558	49	富士:TR-3N	34.0A
51	燃料出入機ドアバルブ	R-601	558	49	富士:TH-0NH	2.2A
52	燃料出入機可動ブロック	R-601	558	49	富士:TH-0NH	8.0A
53	燃料出入機グリッパ(高速)	R-601	558	49	富士:TH-0NH	4.2A
54	燃料出入機グリッパ(低速)	R-601	558	49	富士:TH-0NH	0.92A
55	燃料出入機ブロワ(A)	R-601	558	49	富士:TR-3N	26.0A
56	燃料出入機横行(高)	R-601	558	49	富士:TR-1SN	16.0A
57	燃料出入機横行(低)	R-601	558	49	富士:TH-0NH	2.3A
58	燃料出入機走行(低)	R-601	558	49	富士:TH-0NH	2.2A/2.2A
59	燃料出入機走行(高)	R-601	558	49	富士:TR-0NH	9.6A/9.6A
60	燃取系アルゴンガス系設備真空ポンプ(B)	R-601	558	49	富士:TR-0NH	6.2A

表-4 制御機器設定値一覧(3/6)

No.	負荷名称	部屋番号	盤番号	デバイスNo.	メーカー型式	設定値
サーマルリレー及び過電流リレー(3/4)						
61	トランスファロータドアバルブ	R-601	558	49	富士:TH-0NH	2.2A
62	燃取系アルゴンガス系設備真空ポンプ(A)	R-601	558	49	富士:TR-0NH	6.5A
63	トランスファロータ予熱ヒータ(B)	R-601	558	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
64	トランスファロータ予熱ヒータ(A)	R-601	558	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
65	燃料取扱補助盤2(予熱スリーブヒータ)	R-601	558	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
66	燃料出入機本体駆動部ヒータ	R-601	558	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
67	A・一次主循環ポンプモータ冷却ファン	R-601	557	49	富士:SW-2SN	14.5A
68	B・一次主循環ポンプモータ冷却ファン	R-601	557	49	富士:SW-2SN	14.5A
69	A・BCT入口弁	R-601	557	49	富士:TR-0H	4.2A
70	B・BCT入口弁	R-601	557	49	富士:TR-0H	4.2A
71	A・一次主循環ポンプ用OPU強制冷却ファン	R-601	557	49	富士:SW-05	6.0A
72	B・一次主循環ポンプ用OPU強制冷却ファン	R-601	557	49	富士:TR-ON	4.2A
73	燃料出入機真空ポンプ	R-601	557	49	富士:TR-0NH	6.4A
74	B・2CP/CTr冷却ファン	A-509	265	49	富士:SW-05	2.6A
75	窒素ガスブロワA	A-509	265	49	富士:TR-0H	4.1A
76	廃ガス圧縮機A	A-509	265	49	富士:TR-3N	21.0A
77	A・2CP/CTr冷却ファン	A-509	265	49	富士:TR-ON	4.2A
78	汚染廃ガス用真空ポンプ	A-509	267	49	富士:TH-0NH	9.3A
79	冷却池床ドレン排水ポンプ	A-509	267	49	富士:SW-5-1	11.0A
80	サンプリングボックス用真空ポンプ	A-509	267	49	富士:SW-05	1.3A
81	床排水ピット用ポンプ	A-509	267	49	富士:SW-05	3.8A
82	T/RNa受皿ヒータ	A-509	267	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
83	B・2DP/CTr冷却ファン	A-509	266	49	富士:TR-ON	4.2A
84	窒素ガスブロワB	A-509	266	49	富士:TR-0H	4.1A
85	廃ガス圧縮機B	A-509	266	49	富士:TR-3N	21.0A
86	A・2DP/CTr冷却ファン	A-509	266	49	富士:TR-ON	4.2A
87	アルゴンガス循環ブロワ(A)	A-509	268	49	富士:TR-6N	106.0A
88	非常用廃ガス圧縮機	A-509	268	49	富士:TR-6N	116.0A
89	低レベル廃液送水ポンプ	A-509	268	49	富士:TR-3N	18.0A
90	高レベル廃液送水ポンプ	A-509	268	49	富士:TR-3N	18.0A
91	アルゴンガス循環ブロワ(B)	A-509	268	49	富士:TR-6N	106.0A
92	水冷却池水循環ポンプ用真空ポンプ	A-509	268	49	富士:TH-0NH	3.8A
93	水冷却池水循環ポンプ(A)	A-509	268	49	富士:TR-2N	27.0A

表-4 制御機器設定値一覧(4/6)

No.	負荷名称	部屋番号	盤番号	デバイスNo.	メーカー型式	設定値
サーマルリレー及び過電流リレー(4/4)						
94	水冷却池水循環ポンプ(B)	A-509	268	49	富士:TR-2N	27.0A
95	No.1洗浄槽循環ポンプ	A-509	268	49	富士:TR-2N	27.0A
96	No.2洗浄槽循環ポンプ	A-509	268	49	富士:TR-2N	27.0A
97	床排水ピット用ポンプ(B)	A-509	268	49	富士:SW-05	3.8A
98	トランスファロータ回転	A-509	268	49	富士:TH-0NH	1.28A
99	トランスファロータドアバルブ	A-509	268	49	富士:TH-0NH	2.2A
100	燃料洗浄床ドアバルブ	A-509	268	49	富士:TH-0NH	2.2A
101	使用済燃料移送用水中台車	A-509	268	49	富士:SW-05RM	2.3A
102	回転移送機ブロウ(B)	A-509	268	49	富士:TR-2N	20.0A
103	回転移送機ブロウ(A)	A-509	268	49	富士:TR-2N	20.0A
104	廃棄物処理非常空気圧縮機	A-509	268	49	富士:TR-3N	14.5A
105	燃料洗浄設備水素濃度計	A-509	268	49	富士:TR-2N	27.0A
106	シール水ポンプ操作盤	A-509	268	49	富士:SW-03	3.5A
107	沈降防止槽用ポンプ	A-509	268	49	富士:SW-03	17.0A
108	トランスファロータポット予熱ヒータ	A-509	268	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
109	トランスファロータポット予熱ヒータ	A-509	268	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
110	トランスファロータポット予熱ヒータ	A-509	268	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
111	トランスファロータポット予熱ヒータ	A-509	268	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
112	トランスファロータポット予熱ヒータ	A-509	268	51	富士:BRR21N	30mA, 0.1sec
113	給気ブロア	M-301	715	49	富士:RCa3737-1C	10.0A
114	加圧ポンプ	M-301	715	49	富士:TH-0	5.0A
115	油圧ポンプ	M-301	715	49	富士:TH-0	8.0A
116	油圧ポンプ	M-301	715	49	富士:TH-0	8.0A
117	Aコンクリート冷却ブロウ	A-102	002	51-1R	東芝:ICR1D-AT2H	T=4.5 L=6 (420A)
118	Aコンクリート冷却ブロウ	A-102	002	51-2T	東芝:ICR1D-AT2H	T=4.5 L=6 (420A)
119	Bコンクリート冷却ブロウ	A-118	015	51-1R	東芝:ICR1D-AT2H	T=4.5 L=6 (420A)
120	Bコンクリート冷却ブロウ	A-118	015	51-2T	東芝:ICR1D-AT2H	T=4.5 L=6 (420A)

表-4 制御機器設定値一覧(5/6)

No.	負荷名称	部屋番号	盤番号	デバイスNo.	メーカー型式	設定値
タイマー(1/2)						
1	オートグリスター(A)	A-102	003	2-1A	オムロン:H3CR	2H
2	オートグリスター(A)	A-102	003	2-2A	オムロン:H3CA	166H
3	オートグリスター(A)	A-102	003	2-3A	オムロン:H3CR	0.6M(36S)
4	オートグリスター(A)	A-102	003	2-4A	オムロン:H3CR	1M
5	オートグリスター(A)	A-102	003	2-5A	オムロン:H3CR	0.88H(53M)
6	オートグリスター(A)	A-102	003	2-6A	オムロン:H3CR	10S
7	オートグリスター(A)	A-102	003	2-7A	オムロン:H3CR	0.3M(18S)
8	オートグリスター(B)	A-118	016	2-1B	オムロン:H3CR	2.5H
9	オートグリスター(B)	A-118	016	2-2B	オムロン:H3CA	166H
10	オートグリスター(B)	A-118	016	2-3B	オムロン:H3CR	0.66M(39.6S)
11	オートグリスター(B)	A-118	016	2-4B	オムロン:H3CR	1M
12	オートグリスター(B)	A-118	016	2-5B	オムロン:H3CR	0.88(53M)
13	オートグリスター(B)	A-118	016	2-6B	オムロン:H3CR	10S
14	オートグリスター(B)	A-118	016	2-7B	オムロン:H3CR	0.3M(18S)
19	Aコンクリート冷却ブロワ	A-102	002	2	オムロン:STP-N	20S
20	Aコンクリート冷却ブロワ	A-102	002	2-1	オムロン:STP-N	30S
21	Aコンクリート冷却ブロワ	A-102	002	T1	オムロン:H3CR	0.5S
22	コンクリート遮蔽冷却系窒素ガス 冷却ブロア駆動用インバータ盤(A)	A-102	-	INV-TA	オムロン:H3BA-8	3S
23	コンクリート遮蔽冷却系窒素ガス 冷却ブロア駆動用インバータ盤(A)	A-102	-	COM-TA	オムロン:H3CR-A8	1S
24	コンクリート遮蔽冷却系窒素ガス 冷却ブロア駆動用インバータ盤(A)	A-102	-	UV-TA	オムロン:H3CR-A8	0.15S
25	アニュラス部排気ファン	A-102	003	T1	オムロン:H3CR	0.5S
26	格納容器常用排気ファン	A-102	003	T1	オムロン:H3CR	0.5S
27	格納容器給気ファン	A-102	003	T1	オムロン:H3CR	0.5S
28	ペDESTALブースタブロワ	A-102	003	T1	オムロン:H3CR	0.5S
29	Bコンクリート冷却ブロワ	A-118	015	2	オムロン:STP-N	20S
30	Bコンクリート冷却ブロワ	A-118	015	2-1	オムロン:STP-N	30S
31	Bコンクリート冷却ブロワ	A-118	015	T1	オムロン:H3CR	0.5S
32	コンクリート遮蔽冷却系窒素ガス 冷却ブロア駆動用インバータ盤(B)	A-118	-	INV-TB	オムロン:H3BA-8	3S
33	コンクリート遮蔽冷却系窒素ガス 冷却ブロア駆動用インバータ盤(B)	A-118	-	COM-TB	オムロン:H3CR-A8	1S
34	コンクリート遮蔽冷却系窒素ガス 冷却ブロア駆動用インバータ盤(B)	A-118	-	UV-TB	オムロン:H3CR-A8	0.15S
35	アニュラス部排気ファン	A-118	016	T1	オムロン:H3CR	0.44S
36	格納容器常用排気ファン B84-4B	A-118	016	T1	オムロン:H3CR	0.44S
37	格納容器給気ファン B84-1B	A-118	016	T1	オムロン:H3CR	0.44S
38	ペDESTALブースタブロワ B84-10B	A-118	016	T1	オムロン:H3CR	0.44S
39	チリングユニット冷凍設備現場操作盤	A-103	057	63-1	オムロン:H3CR-A8	1.5m(90S)
40	チリングユニット冷凍設備現場操作盤	A-103	057	63-2	オムロン:H3CR-A8	2.5m(150S)
41	チリングユニット冷凍設備現場操作盤	A-103	057	63-3	オムロン:H3CR-A8	2.0m(120S)
42	チリングユニット冷凍設備現場操作盤	A-103	057	63-4	オムロン:H3CR-A8	3.0m(180S)

表-4 制御機器設定値一覧(6/6)

No.	負荷名称	部屋番号	盤番号	デバイスNo.	メーカー型式	設定値
タイマー(2/2)						
43	#002, #003共通制御電源	A-102	-	A2T1	オムロン:H3CR-A8	10S
44	#002, #003共通制御電源	A-102	-	A1T2	オムロン:H3CR-A8	3S
45	#002, #003共通制御電源	A-102	-	B2T1	オムロン:H3CR-A8	10S
46	#002, #003共通制御電源	A-102	-	B1T2	オムロン:H3CR-A8	3S
47	#015, #016共通制御電源	A-118	-	A2T1	オムロン:H3CR-A8	10S
48	#015, #016共通制御電源	A-118	-	A1T2	オムロン:H3CR-A8	3S
49	#015, #016共通制御電源	A-118	-	B2T1	オムロン:H3CR-A8	10S
50	#015, #016共通制御電源	A-118	-	B1T2	オムロン:H3CR-A8	3S
51	A空調系循環ポンプ	A-102	005	T3-E	オムロン:H3CA	30S
52	A空調系循環ポンプ	A-102	005	T4-E	オムロン:H3CA	5S
53	A補機系揚水ポンプ	A-102	005	T3-E	オムロン:H3CA	30S
54	A補機系揚水ポンプ	A-102	005	T4-E	オムロン:H3CA	5S
55	B空調系循環ポンプ	A-118	017	T3-E	オムロン:H3CA	30S
56	B空調系循環ポンプ	A-118	017	T4-E	オムロン:H3CA	5S
57	B補機系揚水ポンプ	A-118	017	T3-E	オムロン:H3CA	30S
58	B補機系揚水ポンプ	A-118	017	T4-E	オムロン:H3CA	5S
59	Aフ里昂冷凍機	A-102	001	2	オムロン:H3CR-A8	12S
60	Aフ里昂冷凍機	A-102	001	2T	オムロン:H3CR-A8	1.5S
61	Bフ里昂冷凍機	A-118	014	2	オムロン:H3CR-A8	12S
62	Bフ里昂冷凍機	A-118	014	2T	オムロン:H3CR-A8	1.5S
63	窒素雰囲気気再循環ファン(B84-5A)	R-601	560	T1	オムロン:H3CR	0.5S
64	機器冷却ファン(B84-7A)	R-601	560	T1	オムロン:H3CR	0.5S
65	主循環ポンプ上蓋室再循環ファン	R-601	560	T1	オムロン:H3CR	0.49S
66	回転プラグ冷却ブースタファン	R-601	560	T1	オムロン:H3CR	0.49S
67	1A潤滑油ポンプ	R-601	560	62	idec:GT3F-1	2.25S
68	1B潤滑油ポンプ	R-601	560	62	idec:GT3F-1	2.25S
69	窒素雰囲気気再循環ファン(B84-5B)	R-601	561	T1	オムロン:H3CR	0.5S
70	機器冷却ファン(B84-7B)	R-601	561	T1	オムロン:H3CR	0.5S
71	主循環ポンプ上蓋室再循環ファン	R-601	561	T1	オムロン:H3CR	0.5S
72	2A潤滑油ポンプ	R-601	561	62	idec:GT3F-1	2.3S
73	2B潤滑油ポンプ	R-601	561	62	idec:GT3F-1	2.3S
74	窒素雰囲気気再循環ファン(B84-5C)	R-601	561	T1	オムロン:H3CR-A8	0.5S
75	窒素雰囲気気再循環ファン(B84-5D)	R-601	561	T1	オムロン:H3CR-A8	0.5S
76	回転プラグ冷却ブースタファン	R-601	561	T1	オムロン:H3CR-A8	0.48S
77	#560共通制御電源	R-601	562	T1	オムロン:H3CR	10S
78	#560共通制御電源	R-601	562	T2	オムロン:H3CR	3S
79	#561共通制御電源	R-601	562	T1	オムロン:H3CR	10S
80	#561共通制御電源	R-601	562	T2	オムロン:H3CR	3S
81	格納容器雰囲気調整盤	R-601	563	FR1	オムロン:H3BA	0.5S
82	格納容器雰囲気調整盤	R-601	563	FR2	オムロン:H3BA	0.5S